

2025年4月14日  
株式会社 毎日放送

2025年4月13日 開幕初日

## 『1万人の第九 EXPO2025』

大阪・関西万博会場内 大屋根リング・ウォータープラザにて  
万博アンバサダー・佐渡裕総監督と1万人の合唱団が  
歓喜の大合唱で万博開幕を告げる！

MBSテレビは、大阪・関西万博会場内にて、2025年4月13日の開幕初日の朝9時のオープンと同時に、予定通り『1万人の第九 EXPO2025』を開催いたしました。

万博アンバサダーでもある総監督・佐渡裕の指揮の下、万博会場内(大屋根リング、ウォータープラザ)に1万人の合唱団を配置し、事前に募集した歌声投稿とも統合させて、“いつでも・どこでも・だれとでも・心と歌声がつながる” 唯一無二のベートーヴェンの「第九」大合唱で、万博開幕を告げる歓喜の歌声を高らかに会場の空へと響かせました。

この日の本番を迎えるため、約18,000人の応募の中から抽選で選ばれ、全国各地で合唱練習を重ねてきた6歳～93歳の1万人の合唱参加者たちは、お揃いの万博カラーのポンチョに身を包み、雨の降りしきる早朝から会場に集合。初めて踏み入れる万博会場に胸躍らせながら、それぞれの合唱位置(大屋根リング、ウォータープラザ)に分かれてスタンバイ。指揮者と大屋根リングの合唱団との一番離れた距離がなんと約230メートルという、未曾有のスケールの大合唱がはじまる歴史的瞬間をオーケストラとともに厳かに待ちます。そして開演直前、それまで降り続いた雨が止み、雲の間からうっすらと光が。開門すると同時に、ウォータープラザ中央に立つ総監督・佐渡裕のタクトが振り下ろされると、大阪・関西万博の開幕を世界中に告げる壮大な歓喜の大合唱がはじまり、続々と押し寄せる世界各国の入場者たちを清々しく、晴れやかな歌声で迎えました。

また、この歴史的な開幕イベントの瞬間を見届けようと、世界中から多くの記者たちや入場客たちがウォータープラザに集い、第4楽章が演奏された約20分間、歓びに満ち溢れた迫力満点のハーモニーと、クライマックスに打ち上げられたおおよそ300発の花火で、会場は祝祭ムードに包まれました。



©MBS/1万人の第九 EXPO2025

### ◆開催直後の佐渡 裕さん(総監督・指揮/2025年日本国際博覧会アンバサダー)コメント

ホツとしました。万博しょっぱなですからね、9時開門と同時に音を鳴らす、責任重大。ある意味祝い事ですし、ここから半年万博に世界から大勢の方が集まるでしょうから、華々しく幕開けしたい。

そういうプレッシャーは非常に大きかった。

外で1万人でやるっていう信じられない規模で、ご覧になったと思いますが、僕から合唱団の端の方が何百メートルも離れてますからね。そして決してやさしい曲ではない。

勇気がいりましたけど、とってもうまくいったと思います。意義のあるオープニングができたと思います。



【テーマ】

What a wonderful Symphony こでも・だれとでも、心つながる、喜びのうた！～

【企画趣旨】

ベートーヴェンの「第九」は、今から 200 年前(1822～1824 年ごろ)、自由を抑圧された時代に演奏された人生讃歌であり、人と人をつなげる平和への讃歌です。年齢やバックグラウンドも人種も異なる人々が集まり、壮大な SYMPHONY が生まれることで、音楽を通じたダイバーシティを表現。合唱する一人一人が主役になり、お互いのいのちを讃え合い、大阪・関西万博会場から、「平等・平和」をテーマに命が輝く大きな響きを創り上げ、世界中に「歓喜の歌」を発信いたします。

【実施内容】

万博会場内(大屋根リング、ウォータープラザ)に約1万人の合唱団を配置。万博アンバサダーでもある世界的指揮者佐渡裕の指揮の下、万博会場内の第九演奏、歌声投稿、それらを統合し、いつでもどこでもだれとでも心と歌声がつながる、唯一無二のベートーヴェンの「第九」大合唱を創り上げました。

またコンサートの事前、本番の様子は1万人の第九公式 YouTube でリアルタイムにライブ配信され、当日午後1時から放送される『よんちゃん TV 特別編 大阪・関西万博に行きたくなるよん SP』のなかでもノーカットで放送。後日、5月6日には特別番組『1万人の第九 EXPO2025 の軌跡』も放送します。

【技術的な取り組みについて】

NTT グループの技術協力のもと、次世代情報通信インフラ IOWN※オールフォトニクス・ネットワークを用いた遠隔合唱を実施します。会場内のシンボル施設である大屋根リングとウォータープラザの2拠点間で、1万人規模の「低遅延遠隔合唱」を行います。IOWN の特性を活かし、離れた場所での合唱でありながら、一体感のある演奏を目指しました。また、会場の映像・音声信号は、IOWN を用いた伝送技術により MBS 本社のサブコントロールルームへリアルタイムで伝送。万博会場外でリモートプロダクションを実現。この取り組みを通じて、次世代通信技術と音楽文化である 1 万人の第九の新しい可能性を探りました。☺☺

※IOWNとは

IOWN(Innovative Optical and Wireless Network)構想とは、あらゆる情報を基に個と全体との最適化を図り、多様性を受容できる豊かな社会を創るため、光を中心とした革新的技術を活用し、これまでのインフラの限界を超えた高速大容量通信ならびに膨大な計算リソース等を提供可能な、端末を含むネットワーク・情報処理基盤の構想です。オールフォトニクス・ネットワーク(APN: All-Photonics Network)はその構成要素の一つです。

## 【合唱団の募集について】

「つなげよう 100 年先へ」をテーマに、今回特に若い世代を中心に参加者を募り歌い継いできた「1万人の第九」の大切な思い(心をひとつに、いのちを讃え合える)を次の世代へしっかりとつなぎ、「万博会場の大屋根リングでうたう」という最高の合唱体験を通して、全ての人が抱き合い、手をつなぐ世界へ誘うことを体現しました。

### <開催概要>

- ◆公演名 『1万人の第九 EXPO2025』
- ◆開催日 2025年4月13日(日) ※開幕初日  
演奏時間: 9:00~9:30 総監督・指揮 佐渡裕
- ◆開催場所 大阪・関西万博会場内 ウォータープラザ、および大屋根リング上(南側)
- ◆主催 株式会社 毎日放送
- ◆共催 公益社団法人2025年日本国際博覧会協会
- ◆技術協力 powered by IOWN
  
- ◆演奏 バートーヴェン交響曲第9番二短調作品125「合唱付き」第4楽章
- ◆出演者  
総監督・指揮 佐渡 裕  
演奏 兵庫芸術文化センター管弦楽団  
ソリスト ソプラノ高野百合絵・メゾソプラノ谷口睦美・テノール笛田博昭・バリトン平野和  
合唱 1万人の第九合唱団
  
- ◆参加人数 合唱参加者総数 10,263人  
(大屋根リング 6,595人/ウォータープラザ 3,668人)

<当日特別番組> 2025年4月13日(日)13:00~15:30  
『よんチャンTV 特別編 大阪・関西万博に行きたくなるよんSP』

<事後特別番組> 2025年5月6日(金)11:00~11:30 『1万人の第九 EXPO2025 の軌跡』

<配 信> TVer スペシャルライブ配信、MBS 公式 YouTube にてリアルタイムにライブ配信

以上

本件問い合わせ先:コンプライアンス局広報部